

燦々

SANSAN

光り輝く



特集

JAとまこまい広域第24回通常総代会開催
JAとまこまい広域共励会にて11名が受賞

安平町追分で2年間の研修を終え、今年新規就農を果たした板垣来夢さんと夫の武史さん。

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.269



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-272241
FAX 0145-273941
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和7年5月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tonakomai.co.jp
メールアドレス
info@ja-tonakomai.co.jp

印刷 株式会社須田製版

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

参院選比例候補 東野ひでき氏がJAとまこまい広域に来訪

4月9日、JAとまこまい広域本所(厚真町)に東野ひでき氏が来訪し、農政運動を呼びかける演説を行なった。会場には、当JAの役職員と組合員約50名が出席し、参議院議員選挙へ向け支援の輪を広げた。冒頭の堀弘幸組合長の応援あいさつでは「農業の安定は1日で成るものではない。国政とともに長い時間をかけて、地域の声を政策に反映させていかなければならない。そのために東野さんのような農業のプロを国政に送り出し、我々の声を届けていただく必要がある」と述べた。農業を取り巻く問題はJAグループの力だけでは解決することのできない状況にある。これらを乗り越えていくために不可欠となるのが農政活動であり、我々の努力に国の支援を実現させていくことが農業の未来にとってなにより重要となる。東野さんは「現場の農家の皆さんと同じ目線に立って、一生懸命頑張って参りますので応援をお願いします」と決意表明された。最後に渡部大樹日胆地区JA青年部協議会会長から「同じ視点を持ち、私たちの声を届けてくれる東野ひできさんを国政へ送り届けましょう」と応援の言葉が贈られ、「がんばろう三唱」の音頭で締めくくられた。



職員と握手をする東野氏



決意表明を行う東野氏



堀組合長によるあいさつ



がんばろう三唱の音頭をとる渡部日胆青協会長

東野ひでき北海道後援会

共済一斉推進のお知らせ

JAとまこまい広域では、長期共済の一斉推進を右記の日程で行います。期間中に職員が訪問し、皆様のライフプランに最適な保障をご提供させていただきますので、ぜひご検討下さいませようよろしくお願いいたします。

①白老支所	5月21日(水)～22日(木)	(苫小牧西部地区含む)
②早来支所	6月 4日(水)～ 6日(金)	(苫小牧東部地区含む)
③追分支所	6月 4日(水)～ 6日(金)	
④穂別支所	6月10日(火)～11日(水)	
⑤厚真支所	6月25日(水)～27日(金)	

No.269 CONTENTS

- 01 特集
JAとまこまい広域第24回通常総代会開催
JAとまこまい広域共励会にて11名が受賞
- 03 カメラレポート
- 07 令和7年度
春期組合員懇談会主要意見集約(Q&A)
- 09 理事会報告
- 10 期待の農力 工藤翔太さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 JAバンクアプリ 税金支払い、スマホで完了

裏表紙 参院選比例候補 東野ひでき氏が
JAとまこまい広域に来訪
共済一斉推進のお知らせ



安平町追分で2年間の研修を終え、今年新規就農を果たした板垣来夢さんと夫の武史さん。蜂入れを行い着果前のメロン苗を確認する様子。6月上旬の初出荷に向けて奮闘中。



▲堀組合長によるあいさつ



▲米(高収量の部)で表彰される石橋亮汰さん



▲議案審議の様子(議長:左から中島広幸さん、吉田隆三さん)

JAとまこまい広域 第24回通常総代会開催

JAとまこまい広域は4月9日、厚真町総合福祉センターで第24回通常総代会を開催した。「食と農を支え、豊かで魅力ある地域社会の実現」をスローガンに掲げた本会では、厚真地区の中島広幸氏と白老地区の吉田隆三氏が議長を務め、全7議案が可決承認された。

JAとまこまい広域共励会にて11名が受賞

平成15年度より実施している共励会表彰は生産組織が整備されている品目で、JAの年間販売取扱高が3億円をこえる品目が対象となり、各部門の最優秀者には毎年4月の総代会にて表彰を行っております。

受賞された皆さまにおかれましては、管内の栽培技術や飼養管理技術の高位平準化の模範として今後ますますご活躍されますことをご祈念申し上げます。

(敬称略)

① 米(高収量の部)

【厚真支所】石橋 公昭

面 積	1,670a
収 量	99,171kg
収量/10a	593.8kg

② 米(高品質の部)

【厚真支所】尾谷 彰

面 積	1,682a
低タンパク収量	83,661kg
低タンパク比率	100.0%

③ 小麦(秋播小麦、高収量・高品質の部)

【厚真支所】(農)海沼農園

面 積	981a
収 量	72,339kg
収量/10a	737kg
1等比率	100.0%

④ 大豆(高収量・高品質の部)

面 積	次年度提案
収 量	
収量/10a	
上位等級比率	

⑤ 小豆(高収量の部)

【厚真支所】(農)大蔵農産

面 積	566a
収 量	16,233kg
収量/10a	287kg

⑥ てん菜(産糖量の部)

【厚真支所】(株)渡部農場

面 積	2,025a
収 量	1,679.31t
収量/10a	8.29t
糖 度	16.1%
産糖量/10a	1.333t

⑦ メロン(高収入・高収量の部)

【追分支所】山田 晋也

収量/10a	2,444kg
収入/10a	1,533,257円

⑧ 南瓜(高収量の部)

【穂別支所】中澤 収

収量/10a	1,863kg
--------	---------

⑨ 酪農の部

【早来支所】今泉 祐貴

脂 肪 率	4.251%
無脂固形分率	8.825%
蛋 白 率	3.439%
体 細 胞	10.1万個
生 菌 数	2.2千個

⑩ 和牛(素牛の部)

【厚真支所】今野 昭男

出荷頭数	20頭
日 齢 単 価	去勢 2,815円 めす 2,018円

⑪ 和牛(肥育の部)

【白老支所】吉田 隆三

出荷頭数	11頭
B M S	11.18
枝肉重量	454.0kg

⑫ 養豚の部

【厚真支所】(有)希望農場

年間出荷頭数	4,034頭 (前年対比 121.3%)
--------	----------------------------

広域

新採用職員への辞令交付・勉強会開催

社会人としての第一歩を踏み出す

JAとまこまい広域は4月1日、厚真町の本所会議室で令和7年度新採用職員を対象とした辞令交付を、2日には先輩職員による勉強会を実施し、新たにJAの一員となった5名が参加した。

冒頭のあいさつで堀弘幸組合長は「新人職員にはわからないことを何回でも上司や先輩職員に聞くことができる特権があります。その特権をうまく活用して1日でもはやく仕事に慣れ、人との出会いを楽しみながら



▲勉強会の様子



▲堀組合長からの辞令交付



▲新採用職員と常勤役員

当JAの職員として活躍することを期待しています」と激励した。また新採用職員は「1日でもはやく戦力となれるよう精一杯頑張ります」と緊張した面持ちで抱負を述べた。勉強会では、各部署の先輩職員より具体的な業務内容や1日のスケジュール、部署の特色などが説明された。新人職員にとっては、自身の配属となる部署と業務について具体的にイメージを膨らませることができ、比較的年齢の近い職員から直接雰囲気

白老

初日は晴天に恵まれ
多くのお客様が来場

「JA春の園芸用品フェア」開催

白老支所は4月12日から18日にかけて春の園芸用品フェアを開催した。フェア初日の土曜日は、販売開始前から多くのお客様が来場し、目当ての肥料を下見するなど盛況であった。

農業用資材の高値が続いているため、肥料や農薬などを安価で購入できる春の園芸用品フェアを楽しみにされているお客様も多い。

開場されると駐車場はすぐ埋まり、販売開始前にもかかわらず各売り場では会計を待つお客様が長蛇の列を成した。来場されたお客様に話を聞くと「毎年楽しみにしていて、今年は花豆に挑戦しようと思います。母は花豆が好きなので毎年スーパーへ買いに行くのですが、売



▲倉庫内で商品を選ぶ様子



▲肥料積込の様子



▲肥料受付の様子

り切れていることが多いのでいつそのことと作ってみようかなと思ったのがきっかけです。豆は作ったことがなくて不安だったのですが、どういった肥料をあげたらいいのかなど相談できてよかったです」と笑顔で答えてくれた。

他にも「せっかく来たので色々聞きました。虫のことはほとんどわからなくて困っていたので助かりました」といった方や、「ついつい種ものは買いすぎてしまします。買いすぎてしまった分は友達同士で持ち寄って分けたりするのも楽しいですよ」といった方もいた。

肥料や農薬の他、ハウス資材や種芋なども陳列され人気を集めた。どうすれば美味しい野菜を育てられるかなど、お客様同士で話している姿も見受けられ、今から収穫を楽しみにしているようだった。

追分

更なる生産拡大へ

追分地区農産物集出荷貯蔵施設完成



▲全体写真



▲堀組合長による玉串奉奠

JAとまこまい広域追分支所では3月27日、安平町追分弥生地区に各行政や各関係機関から多くのご支援をいただき建設されていた、追分地区農産物集出荷貯蔵施設の竣工式・落成式が行われ、堀弘幸組合長をはじめ各関係機関40名が出席した。施設完成にあたり堀組合長は「本日の竣工式・落成式を節目として、施設を有効活用し、管内生産物の流通の合理化にも繋がるものと期待しております。組合員そして地域の皆様の負託に応えて参る所存です」と述べた。また落成式では、集出荷場建設に携わった住拓工業株式会社様、株式会社濱川設計様に感謝状が贈呈された。

この施設は、近年作付を拡大している

加工用馬鈴薯の保管・物流拠点として活用し、隣接する米麦乾燥調整施設の機能向上に、より一層の産地化を図るなど、実需者からの信頼に大きく貢献する施設であると位置づけている。

また倉庫内上部には北海道電力(株)が開発した「ポテライト」が取り付けられた。「ポテライト」は光の波長が異なる2つのLEDを使用しており、「白」が明るさを確保。「赤」が葉緑素の合成を抑制する効果がある。これにより馬鈴薯の緑化を防ぐことができ、品質の向上が見込まれる。



▲祝辞を述べる堀組合長



▲新倉庫

【企画管理部 管理課】

西澤 セナ

(にしざわ せな)

- ①苫小牧市
- ②札幌学院大学
- ③趣味:ディズニー、声優アイドル
- 特技:サッカー(リフティング)
- ④即戦力になれるよう精一杯頑張ります!



【厚真支所 営農課】

島田 和樹

(しまだ かずき)

- ①苫小牧市
- ②酪農学園大学
- ③アウトドア、ライブ鑑賞
- ④大学で得た知識を活かし、1日でも早く戦力として働けるよう精一杯努力していきます。



【金融共済部 共済推進課】

橋本 修治

(はしもと しゅうじ)

- ①札幌市
- ②北星学園大学
- ③ダーツ、サイクリング
- ④いち早く仕事を覚え、組合員の皆様をサポートできるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



【苫小牧支所 金融共済課】

高田 敦也

(たかだ のぶや)

- ①苫小牧市
- ②苫小牧南高校
- ③ゲーム
- ④仕事をはやく覚え、ます。



新採用
職員紹介

配属先 氏名

- ①出身地 ②出身校
- ③趣味・特技 ④ご挨拶

【購買部 生活課】

加藤 迅

(かとう じん)

- ①苫小牧市
- ②厚真高校
- ③読書、散歩
- ④1日でも早く仕事に慣れて、役に立てよう頑張ります。よろしくお願いします。



追分

農業用機械のメンテナンスを実施 追分ごぼう共同機械 部品交換作業

春浅し4月10日、追分ごぼう生産部会（大久保悟会長）は、追分旭共撰場にてごぼう共同機械の部品交換作業を実施した。

当日は、4名の部員が集まり、グリスアップや摩耗した爪の交換を行い半日で作業した。

同部会では、毎年春に機械の整備・メンテナンス作業を行っており、共同機械を円滑に利用いただけるよう取り組んできた。大久保会長は「農機具の値上がりが続いている中、メンテナンス作業がいかに大切かを再認識できた。今後も共同機械を円滑に利用いただけるよう、活動を続けていきたい」と話してくれた。



▲爪交換の様子



▲グリスアップの様子

ごぼうの生産現場においては、生産者数が減少してきているが、今後も農業機械の円滑な共同利用により農作業の軽労化に繋げ、更なる部会の発展を期待したい。



穂別

令和7年度の活動内容について協議

とまごまい広域農協青年部穂別支部 全体会議を実施

4月4日、青年部穂別支部（中澤誠弥支部長）は全体会議を開催し、部員10名が参加した。

同会議は、今年度の活動について意見を募りつつ、情報交換や盟友間の親睦を深めることを目的に毎年この時期に開催されている。

全員の手にビールが回ったタイミングを見計らって、石崎副支部長より「今年



▲副支部長の石崎大知さん

も有意義な活動に出来るよう、活発な意見を出し合ってもらい、盟友一丸となって取り組んで頂きたい」と乾杯の挨拶から始まり、終始賑やかな雰囲気では進んだ。

流送まつり、ハロウィンランタン、クリスマス・スポーツ交流会について役割分担を話し合った。また、流送まつりの出店内容についても、具体的な意見を聞くことが出来た。今後、提案された意見の実現に向けて毎月実施される役員会で協議を重ねていく。

最後に、新役員になった森山翔さん（27歳）は、「青年部の繋がりは農業を続ける上でなくてはならない関係だと思えます。役員として部の支えになれるよう頑張りたいです」と笑顔で話してくれた。



▲4月2日に行われた越冬茎数調査の様子

JAとまごまい広域 麦生産振興会穂別支部（東洋一支部長）は4月4日、秋まき小麦の栽培技術講習会を開催した。同講習会は、高品質・安定多収にむけて、今後の管理ポイントを再確認することが目的。作付予定の青年部員及び新規作付者を含めて、11名が講習会に参加した。

東胆振普及センターの担当者より「凍上害・雪腐病の懸念はあったが、その発生は少なかったため、生育は順調である」と説明があった。

また、「今後の追肥では生育状況に合わせ茎数が少ない場合は積極的に追肥し、過繁茂で茎数を減らしたい場合は減

穂別

今後の追肥体系について確認

小麦栽培技術講習会の開催



▲栽培履歴の配布の様子

地化をしており、今回の転作内訳確認の結果、約6割まで畑地化をする見込みとなった。畑地化については、農業者に及ぼす影響が大きく、不透明な部分も多い為、当日は質問する組合員が多く見られた。この2日間で対象者75名の内、65名と多くの方が訪れ、関心の高さが伺える。なお、今回の聞き取りで作成した「データを基に、6月には経営所得安定対策の加入申請手続きが行われる予定となっている。



▲転作確認受付の様子

早来

多くの生産者が訪れ 制度への理解を深める

令和7年度 経営所得安定対策・産地交付金に係る転作内訳確認を行う

4月2日（水）と3日（木）の2日間、とまごまい広域農業協同組合早来支所の2階会議室にて毎年4月に実施している安平町農業再生協議会（会長 及川秀一郎）主催による「転作内訳確認」が開催され、同時に営農農産課による労災の申請受付、栽培履歴の配布も行われた。令和4年度から水田活用の直接支払交付金の見直しが行われ、早来地区では転作田の内、約5割が令和6年度までに畑



▲多くの生産者が講習会に参加した

肥や追肥時期を遅らせて対応してください」と周知したほか、「同JA管内では赤さび病の発生は全道と比較して少ないものの注意を払って観察してください」と話した。

JAの担当者からは、4月2日に行った越冬茎数調査の結果報告が行われ、「穂別地区の土壌は火山性土が多いため、保肥力が小さい圃場が多い」と説明された。そのため、常に窒素がある状況を持続するために、『少量多回数施肥』を実施することで、収量アップに直結すると説明され、講習会は終了した。

令和7年度 春期組合員懇談会 主要意見集約（Q&A）

開催日：令和7年3月18日・19日 出席者数：56名

企画管理部

- Q1** 固定資産の取得および剰余金処分案について、白老の農協牧場の記載がないが処分しないのか。また、総代会にかけないといけない案件だと聞いたがどうか。（白老）
- A1** 今回の固定資産売却は理事会の付議事項となります。白老の農協牧場に関しては、農協の資産であることから、組合員の理解のもとに売却に向け協議することとなります。
- Q2** 職員の定期異動について、組合員対応への影響を考慮して行っていく。また、各分野のスペシャリスト育成についても留意願いたい。（白老・厚真）
- A2** 職員人事は、職員教育の観点から金融共済部門は5年を基本に異動が必要で、各部門とも専門性を考慮しながら職員教育を図るうえで人事異動が必要となりますのでご理解願います。職員教育は階層別に研修を実施しています。
- Q3** ここ数年で中途退職者は何名いたか。なぜ退職する人間が多いのか。原因は待遇なのか人間関係なのか把握していないから変わらない。（白老）
- A3** 直近3力年の中途退職者数は27名（約5％/年）となり、退職理由は結婚や他業種へのキャリアアップが多い状況です。職員の待遇改善や研修によるモチベーション向上により、離職率の低減を図ります。
- Q4** 畜産部職員のケータイをスマートフォンに変え、LINEでのやり取りを行いたい。または、個人所有のスマートフォンを利用する場合は手当をつけることも考えて欲しい。（白老）
- A4** 農協支給の携帯電話は、農産部門、畜産部門の市場関係者との通話が多い部署を優先的に支給しており、通話に特化したガラケーを主体としています。スマホの利便性と費用を考慮し、検討させていただきます。
- Q5** 追分が追分事業所で、早来が安平支所なのは違和感を感じる。早来は残して欲しい。（早来）
- A5** 名称については案として提案させて頂きますので、今後協議させて頂きます。
- Q6** インターネットやSNSでJAに対する誤った情報が拡散されているため、ホクレンやJAの全国組織で正しい情報発信をしてもらえるよう意見を出して欲しい。（早来）
- A6** 中央会をはじめ、北海道米対策協議会でも問題視しており、今後と
- A18** カルビー出荷が増え、生食用が減ってきている中、大きな機械更新に厳しい現状ですが、物流問題に関するパレット輸送体制の構築に向けて、施設運営を含め協議を進めてまいります。
- Q19** 備蓄米が放出されたが、今後米の価格はどのように推移するのか。（厚真）
- A19** 備蓄米の入札は21,000円位になっています。主食用米は23,000円〜26,000円の流通です。基本的に備蓄米の行き先は学校給食などが中心となり不足が見込まれる納品先が優先となります。今年の米価に影響が出る可能性は低いと考えています。
- Q20** ライスセンター、たんとつまいステーション等老朽化が懸念されるが今後の稼働については問題ないか。（厚真）
- A20** 現在、たんとつまいステーションは厚真町の協力により2・6億円の事業で設備更新を進めております。また長期的な計画では国の400億円の予算を活用し支所を含めた施設の再編を考えています。現時点で確認が取れている事業要項では施設の大規模な改修や更新も対象となっています。施設再編は農協単独での事業申請は難しいことから行政からの支援も必要となつてまいります。
- Q21** JAでの雇用確保や賃金の上昇を考慮すれば、施設利用料の増額など、多少のコスト高となることは組合員としてやむを得ないものと理解している。（厚真）
- A21** 近隣の企業や行政でも賃上げを進めても雇用が確保できない状況と聞いております。今年からの改定も検討しましたが財政的な負担が厳しく上げきれなかった状況です。今後、利用料等、数年掛けて段階的に改定していくことで理事会の承認を得ており、協議を進めて参ります。
- Q22** 現状でも地域間や個人間で出荷日程を調整しながらの受入体制となつているが、農業施設の統廃合で出荷最盛期に出荷制限がかかることは無いのか。（厚真）
- A22** 組合員の努力による平均反収の向上や収穫機械の性能向上による日量の出荷量は増加が今後も続くことが予測され、また他支所でも小麦や大豆の作付も増えており、厚真地区の施設的重要性が高くなつております。集中出荷や職員の人材不足を解消できるように調製施設の自動化などあらゆる面で作業効率が高まることを目指しております。将来的には調製施設から遠い支所の生産者が不利益にならないように運賃の共計算など生産者の理解を頂くことも必要と考えております。
- Q23** 今年の営農計画書の米価が16,000円となつていたが、新潟で概算金23,000円に出ていた。単価的にJA外へ流出するのではないか。（早来）
- A23** R7年度用の営農計画書を作成した時期が11月ということもあり、その時点での米単価を16,000円と設定いたしました。が、現在も高価格での取引となつています。報道等にも出ておりますが7年産米についても高い水準での概算金を設定している府県があるなか、系統としても概算金単価設定等協議を進めている次第です。また、6年産米の追加精算については、5月、8月にかけて4,000円程度の精算予定となつております。いずれに致しまし

も適正に報道するよう求めて参ります。

- Q7** あらゆる事業を統廃合することで結果としてJA利用率が低下することにはならないのか。（厚真）
- A7** 事業の統廃合は、融資部門のような専門性が高い部門から進めていく予定です。組合員の利便性を重視していますが、多少のご不便もかかると思われますのでご協力のほど宜しくお願い致します。
- Q8** 地域の高齢化等により総代数も減少を余儀なくされている。また女性部の参画については、土地改良区なども同様に進めているが苦慮しており難しい問題と感している。（厚真）
- A8** ご指摘の通り組合員の高齢化は進んでおり、組合員数の減少が見込まれています。令和8年度より、総代定数を減少すると共に、女性参画の取り組みも進めて参ります。
- Q9** 本所の建て替えを予定しているようだが何年後くらいを目途としているのか（町のようにはゼロカーボンを意識した建設を予定してはどうか）。（厚真）
- A9** 本所建て替えの時期は、建設費用、場所を考慮し決定していくこととなります。乾燥調製施設の建設も含め次期中期経営計画（JAプランⅣ）での策定を見込んでおります。
- Q10** 職員を確保するのは難しいと思うが、職員が継続的に働いてもらうために、仕事で悩んでいることに対して、具体的にどんな対策を行っているのか知りたい。無記名でアンケートを実施する等、言いづらい意見を把握することも、組織一丸となる上で必要と考えます。（穂別）
- A10** 職員研修は、各階層別に全職員を対象に研修を実施しています。数年前より、職員のモチベーション向上に向け、課長級には適切な人事考課の研修、係長級には部下へのティーチング研修、中堅職員にはメンタルヘルス研修、入組2〜4年目には仕事の疑問を相談し合つミーティングを実施しています。

金融共済部

- Q11** 伝染病で殺処分となったときの補償金は若い繁殖雌牛はそれなりの額だが、老齢牛については少ない。牛群の更新にあたり費用がかさむため、現状の家畜情勢が厳しく先行きも不透明な中、いま以上の借入について対応してもらえないか。（白老）
- A11** 繁殖牛の導入については優良肉用牛貸付事業（農業公社事業）の活用や資金メニューも用意しています。厳しい畜産情勢の中でもございしますので、支所、畜産や金融の担当者に遠慮なくご相談下さい。
- Q12** 金融の窓口がなくなると、不便を感じる。利用状況を調べながら、検討してほしい。（追分）
- A12** 利用状況についてはさらに確認しながら、少しでも不便が少なくなるよう金融共済窓口業務代替案の検討にも活かして参ります。

営農部

- Q13** エゾシカ捕獲緊急対策事業とあるが、熊の対策などは考えている

ても、消費者に安心安全で美味しいお米をお届けできますよう多くの出荷を願っています。

- Q24** 施設の再編について、着手しなければならないと思う。料金改定について、現状は基本料金にプラスという設定になつていて、新たな料金体系を組合員にわかりやすく提示してほしい。また、当農協は複数の市町に跨っているため、どこまで施設を集約するのか。農産物出荷施設のみならず、購買についても集約しベストな施設体制を整えて欲しい。（追分）
- A24** 現在、調製施設の老朽化や人員不足を見据え国の補助事業を活用し、施設の再編集約を協議しています。広域的な利用となりながら、運営体制や利用料金の試算等、振興会利用者との協議しながら事業を展開する予定しております。集約した場合の距離感を縮めることはできないので、負担割合をどう平等に調整するのか、みなさんのご理解を得ながら集約しやすいようにするのが課題だと思ひます。
- Q25** 去年は2024年問題で米や南瓜の輸送が滞っていた。トラックの手配が難しく、各農家の倉庫に置いて欲しい等の協力を求められたが、定期的に作業が重なるため厳しいかった。今年について、どのように考えているのか。（穂別）
- A25** 物流問題に直面し、対応が遅れてしまい申し訳ございません。物流業界は運転手不足等、良い状況にはありませんが、JAとしてトラックを用意し、なるべく迅速に出庫できるよう対応を図つてまいります。

畜産部

- Q26** 白老支所の肉牛出荷販売取扱量が大きく減つているがその原因は。（白老）
- A26** 総じて素牛価格相場が低調であったこと、現在の畜産情勢下において一部の大規模経営体の取引が無くなった為です。
- Q27** 補助金申請において農協事務手数料1％との記載があった。経営が大変な時にでた補助事業まで事務手数料をとるのか。せめて農家のためになる補助金だからそれはとらないとはならないのか。（白老）
- A27** 畜産情勢が大変厳しいのは十分に認識しておりますが、事業の申請事務等が膨大である実情を含めてご理解願います。
- Q28** 販売手数料に対してのJAの業務サービスに物足りなさを感じ、職員と農家の温度差があるように思う。職員もギリギリの中で動いていることは理解しているが、一考の上改善を願う。（白老）
- A28** 今後ともに生産者に寄り添った対応を心がけますので、引き続きご協力をお願いします。
- Q29** ヨーネ病の発生した農家と発生していない農家では意識の差があると感じる。家畜保健所へヨーネ病の講習会を依頼したが、忙しくてできないという回答だった。これ以上発生件数を増やさないためにメータなどを開示してもらい、発生先では早期の終息が達成できるよう畜産部からもお願いして欲しい。（白老）
- A29** ヨーネ病対策の一環として必要であると認識していますので、J

か。道東の方では牛の被害が60頭あった。今後は熊対策も危機感をもつて考えて頂きたい。（白老）

- A13** ヒグマに関しては一部間接的に猟友会へ助成対応を行っておりますが、各行政からの支援もあることから直接的な助成対応をとっておりません。現在はエゾシカ被害がかなり深刻なことから、JAとしては補助財源をエゾシカ駆除へ全て注ぐ方針です。今後も被害動向を鑑み、随時検討を行つて参ります。
- Q14** 畑地化した水田と畑地化していない水田の農協の評価と賦課金に差をつけるのか。（早来）
- A14** 畑地化した水田については、賦課金は「畑」として徴収させて頂いてますが、土地評価については、基本的に畑としてカウントしていますが、今後売買実例が出てきた段階で実情に合うよう検討して参ります。
- Q15** 安平町もゼロカーボン実現のために計画を作っているが、農協からバイオカスプラント等を安平町に提案してはどうか。（早来）
- A15** 施設関連の提案を農協から行うことは、運営維持管理についてある程度中心となつて取り進める前提になることから、JAの財務基盤を含め、費用対効果等あらゆる面からのコミュニケーションを行った上で要請が必要となります。ご意見については今後の議論の参考とさせて頂きます。
- Q16** JAとしてスマート農業を推進しているが、導入を進めるためには通信環境の改善が必要と感している。（厚真）
- A16** JAで提供しているRTK固定基地局からの衛星情報は、管内工リア全てを網羅しております。しかしながら受信端末として携帯電話（スマホ）による通信が必要になることから、山間部、電波が樹木等に遮られたりする場面において通信不良が起こつております。携帯電話の受信エリアについてはサービス提供側による部分であることから、行政とも情報共有し改善への討議を進めていくと共に、国に対しても系統組織一丸となった問題提起を行つて参ります。
- Q17** 早来の水稲・畑作振興会は戸割や面積割でお金は取られるが、青空教室しか活動していない状況。視察等も実施されていない。安平支所になった場合、早来地区と追分地区の振興会は一緒にするのか。（早来）
- A17** 令和7年度より米生産振興会の本部機能の見直し、畑作物3振興会の本部組織を統合再編するに至りました。組合員の負担軽減を鑑み行った再編となりますが、それにより各支部における活動についてはより一層の充実が必要と考えています。支所再編による生産組織統合については、まだ議論されていない段階ですが、活動の充実と負担軽減のバランスをよく議論し判断していきたいと考えております。

農産部

- Q18** 馬鈴薯選果場の設備が老朽化している。物流2024年問題もありパレット輸送に移行するのであれば計画的施設更新をお願いしたい。（厚真）
- A18** 馬鈴薯選果場の設備が老朽化している。物流2024年問題もありパレット輸送に移行するのであれば計画的施設更新をお願いしたい。（厚真）
- Q30** 胆振基準牛の条件を更新する必要があるのではないが、購買者の負担を減らすような基準を再設定することで、農協主導で素牛販売をできるような環境づくりをして欲しい。（白老）
- A30** 本件について有利販売に向けて胆振和牛振興協議会にて再検討して参ります。
- Q31** 市場では雌牛のみヨーネ病の検査が必要で、去勢には義務付けがない。ヨーネ病の拡散防止、リスク軽減のために市場の長靴の洗いの蛇口や消毒槽の増設をホクレンに要望していただきたい。（白老）
- A31** 畜市場開設者であるホクレンへ要望して参ります。
- Q32** JAの将来構想においては農業施設群の更新再編計画が示されていたが、畜産関連におけるハード面での構想はあるか。（早来）
- A32** JAにおいて畜産の共同施設等の事業展開した場合の費用対効果を鑑みると、地域の生産者への効果的なメリットよりも利便性を考慮した取組への支援が有効的と考えますのでご理解願います。

購買部

- Q33** 購買車はいつ新しくなるのか。（穂別）
- A33** むかわ町からの令和7年度事業での移動購買車導入補助金が承認され、令和8年3月頃の導入に向け進めております。また、穂別地区の小中学校や組合員、移動購買車利用者に移動購買車の名前（愛称）の募集を行う予定でありますのでその時には、参加をお願い致します。小学校には、移動購買車のデザイナーも募集する予定です。前回の懇談会にて農機具の購入に関して、穂別支所では対応しきれない場合、本所農機に電話すれば相談に乗って頂けると聞いたが、今後はそのような体制で対応頂けると理解していいのか。（穂別）
- A34** 両工場で人材連携を密にし、実行可能な整備の拡大をはかってまいります。
- Q35** 農業機械を購入する際、農機具メーカーと直接取引する場合と、JAを経由して取引する場合の違いを教えてください。（穂別）
- A35** 価格について差異はないと思われませんが、JAを経由することでメーカーとの価格交渉や万が一のクレーム時にスムーズな対応が可能となることからJA利用をお願いします。
- Q36** 「雪瑞穂」等販売しているお米について、価格が高くて困っているという話が周りからよく聞かえてくるが、従来通りの在庫は農協にあるのか。（穂別）
- A36** 永年ご愛顧頂いている利用者に配慮し他の販売店より低価格で販売を続けております。在庫については前年以上の数量確保をしましたが、ふるさと納税のお礼品注文を含め、予想以上に販売が進み3月に再度、在庫を追加しております。ただし、今後の販売状況によつては販売出来なくならないように数量制限を設ける場合も予測されますのでご理解をお願い致します。



さんさんかがや 期待の農力

父を超えるために...



く どう しょう た
工藤 翔太さん(28歳) 厚真町鯉沼

就農してから感じる
やりがい

就農後は、楽しいことばかりだ

就農のきっかけ

平成8年11月12日、厚真町鯉沼の工藤家の次男として誕生する。
北海道岩見沢農業高等学校を卒業後、帯広市で農機具メーカーに就職して6年間勤めたのち、令和3年にUターン就農を果たして今年で5年目を迎えた。本年度は水稲・小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴薯の作付のほか、いも掘りの観光農園を営む。

今後の目標

翔太さんは「ゆくゆくは父を超えたい。そのために、営農に関する知識をつけるだけでなく、圃場の観察を欠かさず行い作物の管理を徹底する。父が安心して経営を移譲できるように、早く一人前になりたい」と目標を語ってくれた。規模拡大を目指して作業の無駄をなくし、機械の大型化やスマート農業を取り入れる必要がある。そのために兄弟で力を合わせて頑張りたい」と昨年より帰農した兄の秀聖さんと協力して今後の営農に臨む姿勢を示した。

という翔太さんは「自分の植えた作物が、育っていく過程を見たり、実ったものを収穫して圃場の景色が一変する様子を目にするのが好きだ」と話してくれた。また、「観光農園は消費者と直接交流できる貴重な機会であり、お客さんの手によって収穫されることで、手をかけて育てた作物が消費者の手に届く喜びを実感することができる。諸経費の高騰などさまざまな困難もあるが、継続していきたい」といも掘り観光農園についても意気込みを語った。現在、奥さんと2人のお子さんと暮らしている翔太さんは、自分が仕事をしている場面を子どもたちに見せることができるのも農家ならではのやりがいだ」と話し、仕事の中に家族との距離が近い場面が多いことも魅力だという。

理事会報告

令和7年4月9日(水)に総合営農センターで第4回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



報告
事項

1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 第3回監事会報告について(監事報酬)
3. 決算監事監査の意見に対する回答について
4. 特別加給退職金の支給について
5. 春期組合員懇談会の報告について
6. 役員就業中普通傷害保険への加入について
7. 出資基準に基づく出資増口計画について
8. 第24回職員研修大会の開催について
9. 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に関する組織討議の報告について
10. その他について
 - ① 令和7年度役員名簿
 - ② 組合の機構図
 - ③ 組合の役職員配置図(令和7年4月1日時点)



協議
事項

1. 令和7年とまこまい広域役員責任心得について



付議
事項

- 議案第 1 号 信用担当事の選任について
議案第 2 号 使用人の退職事由の除外について
議案第 3 号 学識経験理事の使用人兼務の決定について
議案第 4 号 令和7年度理事の報酬の配分と支給方法について
議案第 5 号 退任役員への役員退職慰労金の支給について
議案第 6 号 決算監事監査の回答について
議案第 7 号 追分地区農産物集出荷貯蔵施設・外構工事指名競争入札に係る業者選定について

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

水稻の 本田管理について

1 ほ場のワキ(土壌還元)には中干しを実施しましょう

長期間湛水状態のほ場では水温・地温が20℃を超えてくると土壌中の酸素不足によるワキ(土壌還元)が発生します。ワキが進むと硫化水素などの有害物質が発生し、根を攻撃することで、根傷みや根腐れ症状を引き起こし、生育が停滞します(写真1)。

軽いワキは水の入れ替えて対応できますが、中～強程度の場合は中干しを実施しましょう。

中干しは根圏に酸素を供給することで根の健全化、根はり向上が図られることや、地表面を固めて稲の倒伏を防ぐ効果があります。

実施時期・方法は、①幼穂形成期前(6月中旬頃)or冷害危険期後(7月中下旬頃)、②暖かい日(気温18℃以上)、③中干し期間3～5日、としましょう。

中干し期間が長期化すると土壌の亀裂による断根、肥料流亡(硝化作用)のリスクが高まります。

また、前歴期間・冷害危険期に中干しをすると、遅れ穂(遅発分け)の発生や、水分不足により花粉形成が不良となり、1穂粒数の低下につながるので、避けましょう。



写真1 ワキによる根傷み

実施時期	幼穂形成期前 冷害危険期後
実施期間	3～5日間
気温	18℃以上

図1 中干し時期・方法

2 難防除雑草(カヤツリグサ科)の防除

令和6年度はホタルイ・シズイ(カヤツリグサ科)の発生が見られました(写真2)。判別方法は茎の断面が丸い場合はホタルイ、三角はシズイです。

雑草が繁茂してからの防除は困難なため、①登録の範囲内でできるだけ早く散布、②効果的な薬剤を選択、③適切な水管理、が重要となります。

効果的な薬剤として、「イッセン」、「バッチリ」、「レオゼータ」等があります。

特に、初中期一発剤などの水面施用剤を効かせるためには、処理層の形成が重要となります。施用後7日間は止め水とし、掛け流しをしないようにしましょう(図2)。

また、シズイは地下茎で越冬及び、発生する多年草のため、一発剤のみによる防除は困難です。そのため、後期剤による体系処理を基本とし、確実に個体数を減少させることが重要となります。



写真2 カヤツリグサ科

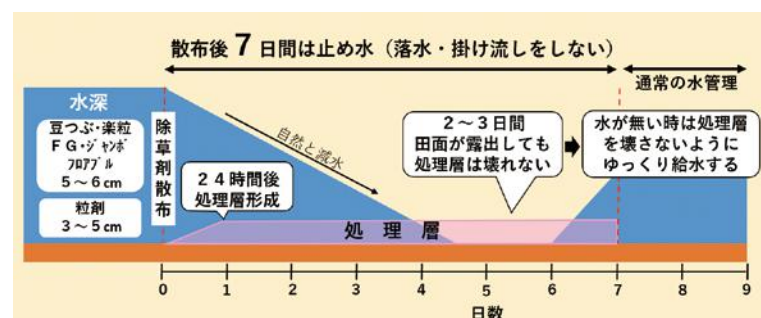


図2 除草剤散布後の処理層形成

ワンポイント営農情報

シリーズNo.58 おいしい米づくり

～活着後の水管理が、収量に結びつく分けつ確保のポイントです～

昨年は、6月中の茎数は平年より少なく推移しましたが、幼形期頃にはほぼ平年並となりました。6月の分けつの遅れは、その後の天候の変化やほ場差が出やすいので、移植後の水管理により安定性を高めましょう。

移植後は、分けつ促進のため日中の水温確保を意識しましょう。

表1 分けつ期における適水温

水温	分けつの状況
32℃	分けつ盛ん
29℃	分けつ順調
20℃	分けつ概ね順調
14℃	分けつ休止が多くなる

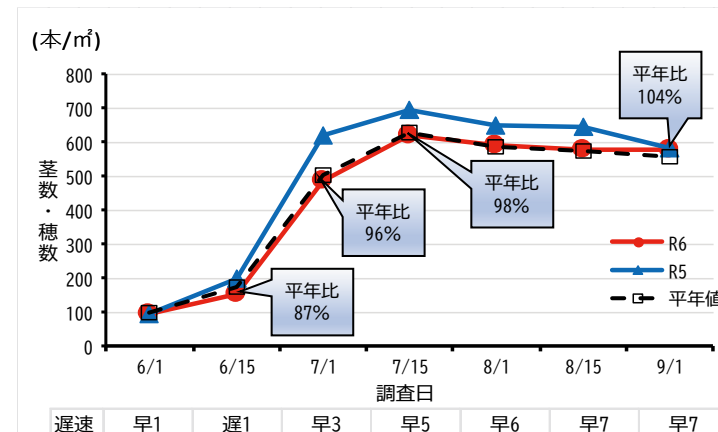


図 令和6年東胆振の茎数・穂数の推移

※胆振農業改良普及センター東胆振支所調べ

**天候の回復は、ほ場の急激なワキにつながる場合があります。
ワキが続くと、根が登熟を維持することが出来なくなります。**

表2 水田のワキ判定と対策

発生状況	生育への影響	対策
水田内に踏込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水の入替え 暗きょ水こうの解放
水田内に踏込むと盛んに気泡が発生する	根張り不良	水こうの解放 一時落水
晴天時、自然に気泡が発生し、音が聞こえる 水田内を歩くと、著しく気泡が発生する	根の伸長阻害	幼形期前の数日で軽くヒビが入る程度の中干し

※中干し実施のポイント※

中干しの目的	・ 過剰な分けつを抑制し、良質茎を確保する ・ 土に酸素を供給し、根の健全化や横根の発根をうながす ・ 地固めを行い、倒伏防止や作業性を確保
中干しの時期	株当り茎数15本程度から開始し、幼穂形成期には入水する。 日中の水温が15℃以上にならないときは、開始を遅らせるか、場合によっては水の入換えだけとする。
中干しの程度	◎ 乾きの悪い水田、倒伏・後出来る水田 開始時期を早めとし(株当り茎数10本程度)、強めの中干し(水田内が楽に歩ける程度が理想)を行う。 ◎ 乾きが早い水田、地力の低い水田 開始時期は遅めとし(株当り茎数15本以上)、弱めの中干し(水田内が少しぬかる程度)とする。
中干し後の管理	中干し後、一気に湛水状態とすると根傷みが出る場合があるので、徐々に入水を行い、水深を確保し、幼穂の保温管理に移行する。

窓口やコンビニに行かなくても



©よりそ

JAバンクアプリなら 税金支払い、 スマホで完了!

土日祝日も



JAバンクアプリのPayB機能で請求書のバーコード・
地方税統一QRコード(eL-QR)を読み取って、
税金等を簡単にお支払い



JAバンクアプリの
ダウンロードはこちらから



※税金、公共料金、その他民間企業のコンビニバーコード収納払い等。対象の請求書はビリングシステム株式会社のホームページをご覧ください。▶<https://payb.jp/public/>
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

スマホで
納税!

はじめてみようPayB キャンペーン実施!

JAバンクアプリからPayBを初めてご利用いただいた方の中から抽選で800名様に、



をプレゼント!

期間:
2025年4月1日▶6月30日

●本特典の対象者

(以下の条件を全て満たした方)

- ☑ 2023年7月1日～2025年3月31日の間JAバンクアプリのPayBによるお支払いがなく、かつ対象期間中(2025年4月1日～2025年6月30日)の間にPayBでお支払いいただいた方
- ☑ web申込フォームに必要事項を記載し、お申し込みいただいた方

特典にかかる留意事項

- 応募には、カナ氏名、JAサービスID、お客様番号の入力が必要となります。JAサービスIDおよびお客様番号が不明の方は、JAバンクアプリ「メニュー」→「JAサービスID/お客様番号」からご確認ください。
- 本キャンペーンの対象期間は、2025年4月1日から2025年6月30日です。
- 当選は特典の発送をもって代えさせていただきます。
- 本特典の発送について、2025年7月頃にweb申込フォームでいただいたメールアドレス宛てにお送りいたします。
- 都合により特典の発送が遅れる場合もございます。予めご了承ください。
- 重複して応募された場合、重複分は無効となります。

申込フォーム
はこちら



さらに!

PayB機能の利用でキャッシュバックキャンペーン実施!

詳細は2025年4月以降、こちらのビリングシステム株式会社*ホームページ(<https://payb.jp/>)でご案内します!
*本キャンペーンはPayBを運営するビリングシステム株式会社が開催するものです。キャンペーンについてはビリングシステム株式会社宛てにお問い合わせください。

◀ご利用方法は、裏面をご覧ください。



H5000303

News & Topics from JA

JA からのお知らせ

JA 日誌

2025 5 月

16日(金)	地区別農協組合長会議(札幌市)、ALM委員会、コンプライアンス委員会
17日(土)	苫小牧消費者協会総会
18日(日)	
19日(月)	
20日(火)	営農支援協議会、第4回企画会議、定期昇給辞令交付
21日(水)	
22日(木)	第5回経営会議、北海道危険物安全協会総会
23日(金)	厚生連理事会、経済事業与信ヒアリング、係長研修
24日(土)	北海道ブラック&ホワイトショウ あぐり王国放送日(ほうれん草部会) 17:00～
25日(日)	
26日(月)	第1四半期事業ヒアリング
27日(火)	共済部門 第1四半期事業ヒアリング
28日(水)	第2回農業振興本部 全体会議、厚真町獣魂慰霊祭
29日(木)	日胆組合長会、作物別対策委員会
30日(金)	ホッカイドウ競馬振興株式会社定時株主総会(門別)、広域職員OB会
31日(土)	北海道畜産公社 獣魂慰霊祭

2025 6 月

1日(日)	
2日(月)	厚真支所経営所得安定対策・出荷契約受付 ～6日 4地区専務会(札幌市)
3日(火)	第2回共済連運営委員会(札幌市) 春の滝本協力会(登別市)
4日(水)	日胆管内JA 営農販売部課長会議
5日(木)	
6日(金)	R7 農業振興対策協議会(穂別)
7日(土)	白老牛肉まつり ～8日
8日(日)	
9日(月)	
10日(火)	新規就農者激励会、第5回監事会、第6回理事会
11日(水)	ホクレン肉牛市場、胆振生産連総会
12日(木)	系統連合会総会 ～13日(札幌市)
13日(金)	ホクレン乳牛市場
14日(土)	旭陽牧場獣魂慰霊祭(予定)
15日(日)	

白老牛肉まつり

昨年5年ぶりに復活した白老牛肉まつりが今年も6月7日(土)、6月8日(日)に開催されます。白老牛肉まつりは白老牛をはじめ、黒毛和牛の丸焼きなどが楽しめる人気のグルメイベントで、昨年は白老町内外から約1万5千人が来場しました。全国の名だたるブランド牛も商品を展開する予定となっております。JAとまこまい広域ブースからは旬の野菜販売や加工品などを販売予定です。

開催日時 6月7日(土) 9:30～20:00

6月8日(日) 9:30～16:30

開催場所 白老郡白老町若草町1丁目1-21

主催 白老牛銘柄推進協議会

職員異動 お疲れ様でした

依願退職 3月31日付

追分支所 開米 輝 平成31年3月1日入組

追分支所営農課農産係、同課営農係、同支所資材燃料課生産資材係を務め依願退職

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏名	享年	月日	地区	氏名	享年
3/22	厚真町	多田 ミエさん	91	3/24	安平町	土田 千尋さん	36
3/21	厚真町	安田 公子さん	95	4/13	安平町	泉田 英吉さん	86

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(5月)

令和7年4月16日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	38	776,053	1.236	2,179
	雌	17	668,882	1.116	1,925
早来	去勢	29	702,552	1.146	2,015
	雌	14	580,714	0.966	1,860
厚真	去勢	22	739,227	1.148	2,167
	雌	9	670,333	1.118	1,926
穂別	去勢	23	767,043	1.179	2,163
	雌	19	597,053	1.043	1,906
追分	去勢	8	755,875	1.164	2,095
	雌	2	605,000	1.088	1,782
とまこまい広	去勢	120	748,467	1.182	2,129
	雌	61	624,393	1.058	1,901
胆振管内	去勢	194	756,407	1.174	2,160
	雌	126	627,468	1.046	1,925
市場計	去勢	941	732,313	1.146	2,139
	雌	687	614,766	1.024	1,940